

Q. 後ろの席でもシートベルトをしないと危ないの？



A. 「後ろの席は安全」と思っているあなた、それは大きな間違いです。シートベルトを着用しないで交通事故にあうと、「3つの危険」にさらされることになります。後ろの席も乗ったらすぐにシートベルトを着用することを習慣にしましょう。

1 車内で全身を強打

事故の衝撃で、あなたは想像以上の力で前席や天井、ドア等にたたきつけられ、大変な被害を受けます。例えば、時速60kmで衝突した場合、高さ約14mのビルから落ちると同等の衝撃を受けることになります。



2 車外放出の危険も

衝突の勢いが激しい場合、後ろの席から車外に放り出される危険性があります。車外に放り出されると、かたいアスファルトに身体を強打したり、後続車両にひかれるなどして、最悪の場合には命を落とすことになります。

3 前席の人にも被害に

衝突の勢いで後ろの席の人が前方に投げ出されると、前の席の人はシートとエアバッグではさまれ、頭に大怪我をしたり、命を奪われる危険性があります。後ろの席のシートベルトには、前の席の人を守る効果もあるのです。



(注) ※グラフの数字は、平成20年中(頭部重傷率を除く)のデータ ※致死率=死者数÷死者数×100
 ※車外放出の数字は、車外放出死者数÷死者数×100 ※頭部重傷率は、(独)自動車事故対策機構の実験データ

Q. みんな、後ろの席のシートベルトをちゃんと付けてるの？



A. 警察庁と(社)日本自動車連盟(JAF)が合同で行った調査で、後ろの席のシートベルトの着用率は一般道では30.8%、高速道路等では62.5%だとわかりました。だんだん着用率は上がっていますが、運転席や助手席に比べると低いのです。



(平成20年10月/警察庁・JAF合同調査)

Q. シートベルトなしで衝突したらどうなるの？



A. 下の写真は、JAFによる衝突実験の様子です。後ろの席のダミーが前の席の背もたれに激突していて、とても危険だということがわかります。



資料提供 JAF

これからは、
全席シートベルトが常識です。

